

市町村名		八重瀬町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	八重瀬町外国語指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	八重瀬町教育員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3	
事業内容	八重瀬町内の4幼稚園・4小学校2中学校において、国際化に柔軟に対応できる力を養う為に幼稚園にはリミック遊びを取り入れ興味をもたせ、小学校では異国の文化を交えて、基礎となる語学力を身につけさせ、中学校ではより専門的な語源や単語等を学び、通年をとおして英語に興味をもたせて、グローバルな視点や視野からコミュニケーション能力と国際感覚を身につける。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,064				
		(b) 予算現額	8,810				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,254				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,810				
	B. 執行済額		8,810				
	うち交付金充当額		7,047				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		活動目標、成果目標の達成状況を総合的に考慮し、当初の計画通り予算を適正に執行できた。事業実施期間が12ヶ月から8ヶ月に減になったため5,254千円の減となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	外国語指導助手配置数 小学校：4人（幼稚園兼務3人） 英語指導助手 中学校：2人	目標	（ 6人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	6人				
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績				
達成状況説明	幼小中への通常の配置及び夏休みに行ったサマースクール（特別英語教室）小学校3日間・幼稚園1日ではあるが、児童生徒に好評であり、英語への興味・関心を高めた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	外国語指導助手配置数 小学校：4人（幼稚園兼務3人） 英語指導助手 中学校：2人	目標	（ ）	（ 6人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		6人			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	通年を通し、学校に配置することで英語への興味・関心・意欲の高揚がみられる。					

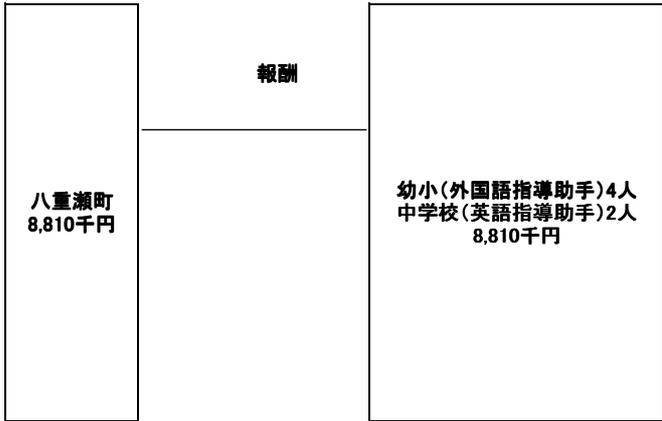
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各幼稚園、小・中学校で配置した講師間での意見の相違や授業の進め方に違いがあるために意思疎通ができてない部分があった。	各学校に配置した講師を一同に集めて、ミーティングや意見交換の場所を確保し、活発な話ができる場所作りが必要である。

今後の取り組み方針

H25年度は月1回のペースで情報交換の場を設けて、お互いに情報交換をスムーズに行えるように改善する。またより多くの児童が外国語に興味を持ち、さらなる語学力を高められるように講師を活用する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,810	8,810	7,047	1,763	



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点からも支出等に適正である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	八重瀬町パソコン指導強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-5-(4)-ア 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築				
担当部署名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度 平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所 III-3				
事業内容	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で教科するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		6,614				
			4,272				
			▲ 2,342				
			—				
			4,272				
	B. 執行済額		4,272				
	うち交付金充当額		3,417				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		活動目標、成果目標の達成状況を総合的に考慮し、当初の計画通り予算を適正に執行できた。事業実施期間が12ヶ月から8ヶ月に減になったため2,342千円の減となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	パソコン指導員配置数 小学校2人（4校を掛け持ち） 中学校2人	目標	（ 4人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	4人				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	小・中学校への通常の配置及び夏休みに行ったサマースクール（パソコン教室）小学生対象8月の3日間（6回講座）ではあるが、児童生徒に好評であり、パソコン操作への興味・関心を高めた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	パソコン指導員配置数 小学校2人（4校を掛け持ち） 中学校2人	目標	（ ）	（ 4人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		4人			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	通年を通し、学校に配置することでパソコン操作及び知識への興味・関心・意欲の高揚がみられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>これまでに導入したパソコンが5年を経過して、各PCに不具合等があり、修理で対応しながら授業を行ってきた。</p>	<p>全学校のPCを総入れ替えを行い、より質の高い操作の指導が行える。</p>
今後の取り組み方針		
<p>H25年度はパソコン操作等さらなる能力を身につけられるように講師を活用する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,272	4,272	3,417	855	
<pre> graph LR A[八重瀬町 4,272千円] -- 買金 --> B[小・中(PC指導員)4人 4,272千円] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点からも支出等に適正である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部署名	八重瀬町教育員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 Ⅲ-3	
事業内容	中学校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統芸能の継承を図るため、組踊り、三線、エイサー、棒術、琉舞等の総合的な学習活動事業である。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,208				
		(b) 予算現額	808				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 400				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	808				
	B. 執行済額		808				
	うち交付金充当額		646				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		活動目標、成果目標の達成状況を総合的に考慮し、当初の計画通り予算を適正に執行できた。当初、2校にて実施予定であったが、1校での実施となった為、400千円の減となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	伝統芸能特別授業講師配置数 中学校 26人	目標	(中学校へ講師派遣 26人)	()	()	()	
		実績	中学校へ講師派遣 27人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	10月の発表会に向けて、5月より各分野にて専門講師を招聘し体験学習を行い、発表会で披露した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	伝統芸能特別授業の受講者数 中学校 205人	目標	()	(受講者 205人)	()	()	()
		実績		受講者 205人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	毎年開催することにより八重瀬町の伝統文化の継承を図ることができる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	講師のなりてが少なく、講師調整や依頼する場合に調整を要す。今後は人材バンク等登録制度などを活用し、スムーズに調整が行える体制が必要である。	年間計画をしっかりと行い、講師との調整をはかり、支障がないように行う必要がある。
今後の取り組み方針		
年間行事等も考慮しつつ、年度初めより計画的に講師等も調整を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	808	808	646	162	
<pre> graph LR A[八重瀬町808千円] -- 謝礼金 --> B[謝礼金として27人へ808千円] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点からも支出等に適正である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町国際交流人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3	
事業内容	教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外へ派遣する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,000				
		(b) 予算現額	5,603				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,397				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,603				
	B. 執行済額		5,603				
	うち交付金充当額		3,943				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		活動目標、成果目標の達成状況を総合的に考慮し、当初の計画通り予算を適正に執行できた。当初見積もりでは、7,000千円であったが精算したところ5,603千円となったので1,397千円の減となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海外短期派遣生徒数 12人	目標	(12人)	()	()	()	
		実績	12人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	国際化時代に対応しうる青少年を育成するうえで、青少年リーダー12人をハワイ州へ派遣し、視察学習やホームステイ・ミドルスクールへの体験入学等を通して国際的視野を広め、友情を深めた。事前研修で作成した資料を各自英語で発表したり、郷土芸能のエイサー・棒術・舞踊を交流会において、披露した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（H33年度）
	海外短期派遣生徒数 12人	目標	()	(12人)	()	()	(累計120人)
		実績		12人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	事後研修や報告書の中で、現地での研修を体験する事で国際的視野が広がったり、将来英語を使った仕事に就きたいといった団員からの声が多く聞かれた。また、次回に向けてアドバイスやサポートをしていきたいとの声もあった。					

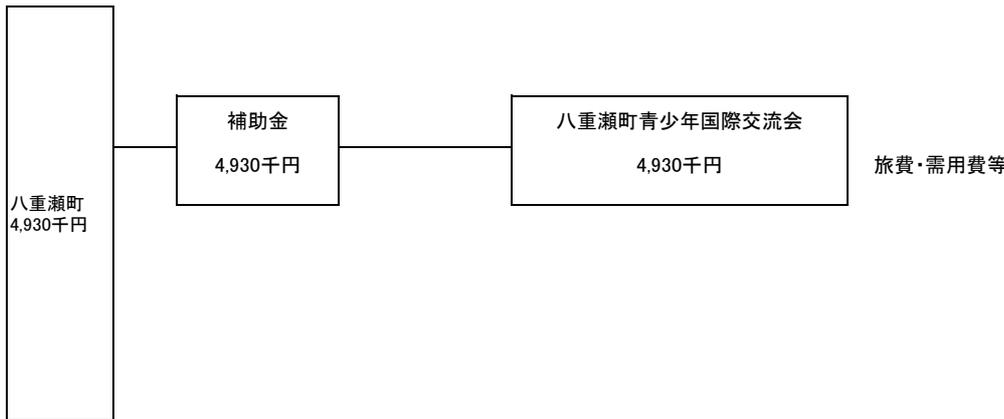
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)事前研修の中でもう少し英会話レッスンの必要がある。 (イ)ホームステイ先の確保の必要がある。	(ア)ALTの先生との調整を行う必要がある。 (イ)沖縄県人会を通して確保する必要がある。

今後の取り組み方針

- 事前研修及び事後研修の内容を充実させる
- ホームステイ先を確保するために、旧東風平町・旧具志頭村人会だけでなく、沖縄県人会へも協力依頼をする

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,603	4,930	3,943	987	673



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、町内各種団体(八重瀬町青少年国際交流会)であり、妥当であると考えられる。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	八重瀬町IT学習環境強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	八重瀬町教育委員会学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3	
事業内容	IT社会へのニーズに対応すべく、早期教育でパソコン操作等の学習を強化するためにも、学校のIT学習環境を整える。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	90,000				
		(b) 予算現額	88,147				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,853				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	88,147				
	B. 執行済額		88,147				
	うち交付金充当額		70,518				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		活動目標、成果目標の達成状況を総合的に考慮し、当初の計画通り予算を適正に執行できた。1,853千円の不用額は、入札残によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	小学校整備台数 デスクトップPC: 164台 ノートPC: 68台 中学校整備台数 デスクトップPC: 82台 ノートPC: 31台	目標	(345台)	()	()	()	
		実績	345台				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	パソコン教室のデスクトップパソコンとノートパソコン及び使用するソフトウェアを整備した。今後は学力の向上の為に活用する。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	町内小中PC教室ハード、ソフト導入率100%	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	パソコン教室のハード・ソフトの整備完了により今後は、PC指導員等を活用して生徒の学力向上の為に活用する。					

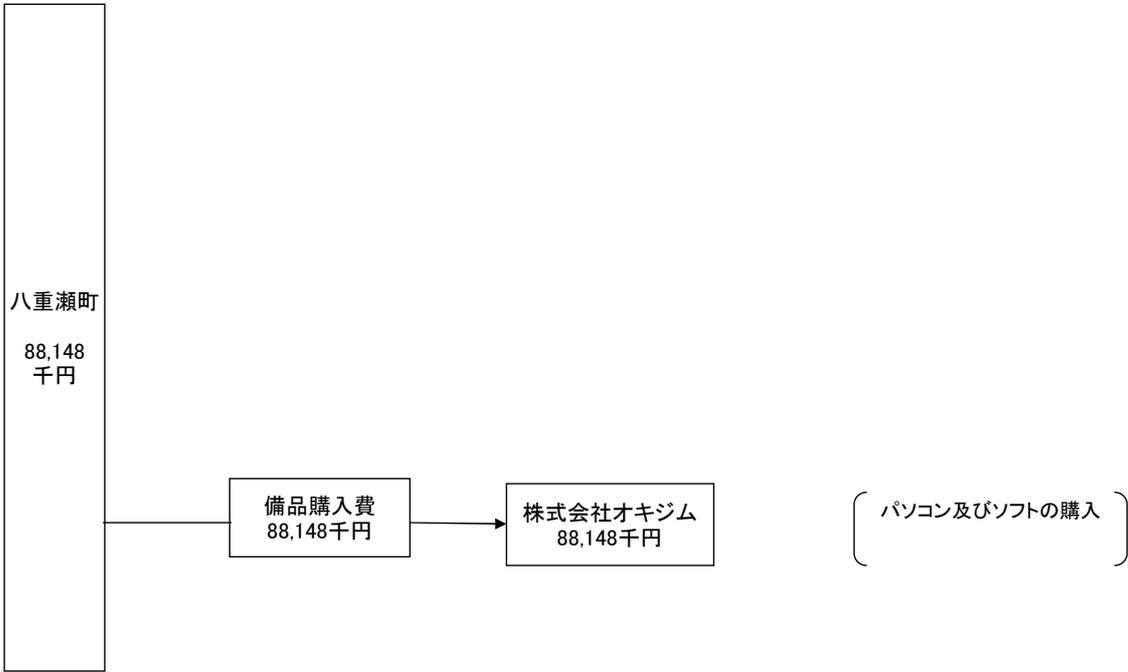
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月導入により4月より運用を開始するため現時点では問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備直後なので特に問題はないと思われるが、平成25年度運用状況把握後に問題があれば検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・整備直後なので特に問題はないと思われるが、平成25年度運用状況把握後に問題があれば検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
88,148	88,148	70,518	17,630	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○発注事業者は実績、知識等を勘案し妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 八重瀬町

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	八重瀬町イベント事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				世界水準の観光リゾート地の形成
				Ⅲ-1-(1)

事業内容 観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+「市町村負担」ベース〕	予算の状況					
	(a) 当初予算額	3,325				
	(b) 予算現額	3,325				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	3,325				
	B. 執行済額	2,995				
	うち交付金充当額	1,281				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	90.1%				
予算の状況の説明	当初の計画通り予算を適正に執行できた。					

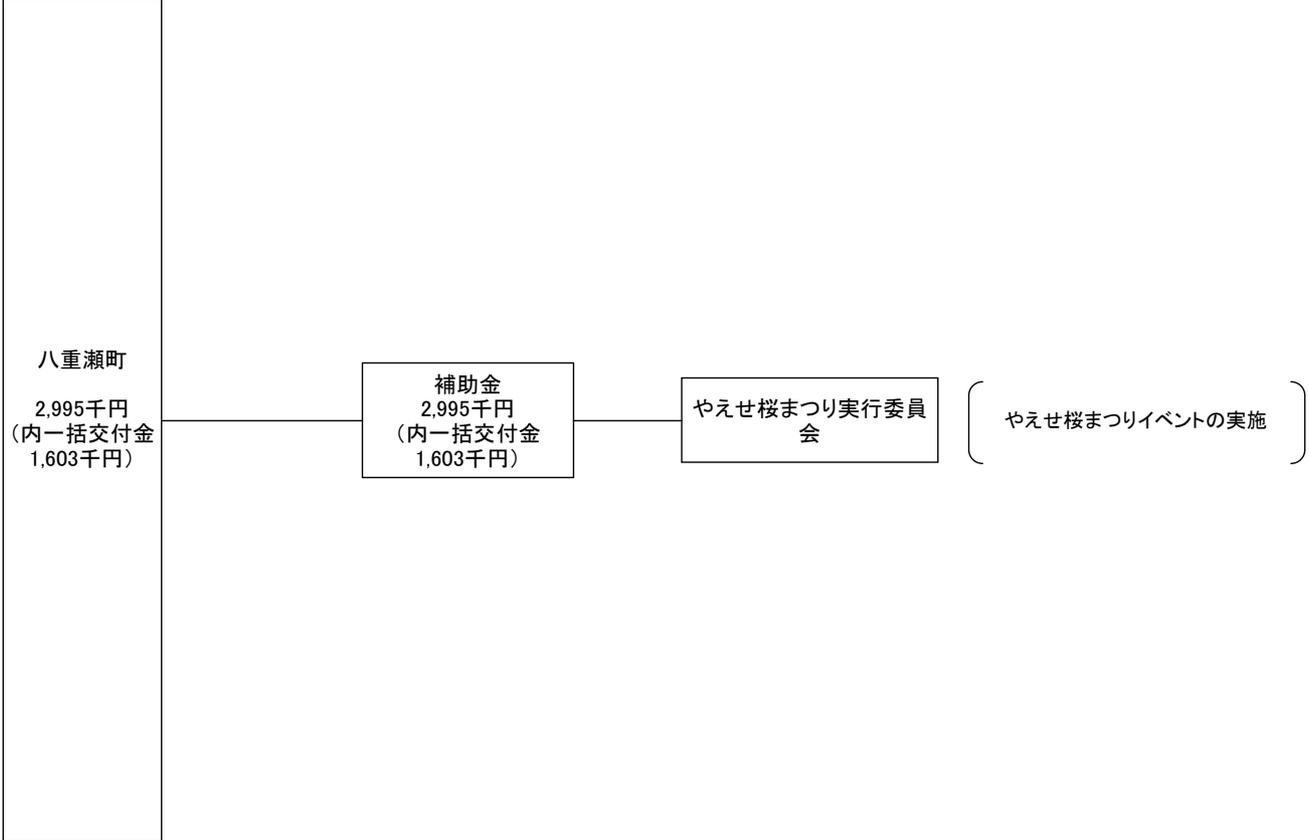
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
やえせ桜まつり開催支援	目標	(開催支援)	()	()	()
	実績	開催支援			
-	目標	(-)	()	()	()
	実績	-			
達成状況説明	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標	()	(1000人)	()	()
	実績		3000人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
進捗状況説明	八重瀬公園の桜を素材に地域内外へ八重瀬町の観光イベントの一つとして地域の伝統芸能・伝統行事をプロモーションを行った。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	やえせ桜まつりは沖縄本島南部の桜まつりとして定着してきているが、観光客にはまだまだPR不足が多々見られた。	今後も継続して地域内外に地域資源の観光情報を新しくしていくことにより地域内外からの観光客流入につながり地域活性化に寄与することができる。
	今後の取り組み方針	
八重瀬町の地域資源を活用したやえせの桜のPRを行うことにより、他では見られないイベントとして地域活性化が図られる。そのために、より一層の観光メニューの創出やプロモーションが重要となるので住民と協働によるイベントの創出を行っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,995	1,603	1,281	322	1,392



資金の流 れの流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実行委員会形式で町内関係団体を含めて執行しておりこの団体以外にはできないので妥当だと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

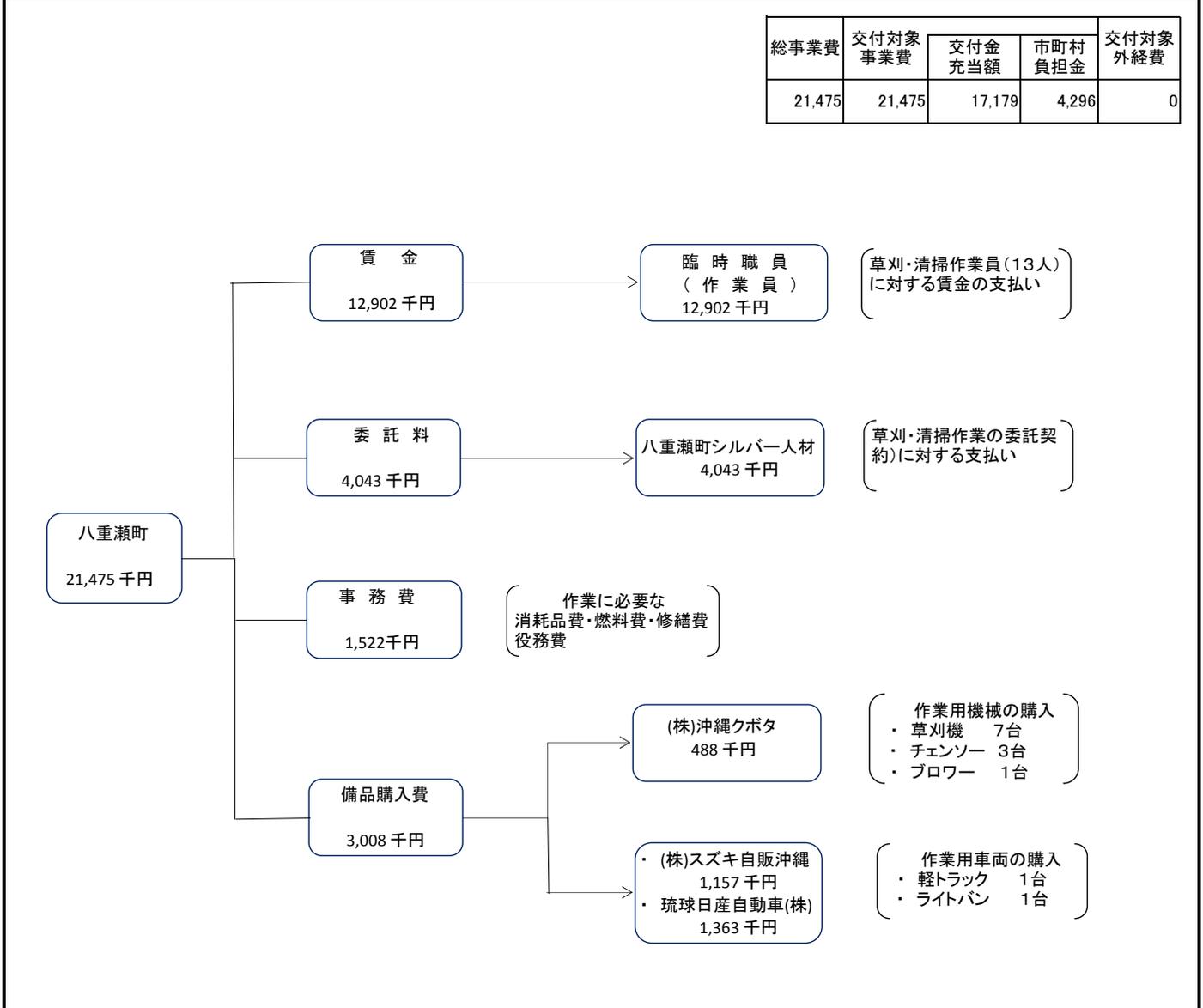
市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	八重瀬町観光地美化作業事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	土木建設課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本町を含む近隣の観光地の質の向上を図るため、訪れる観光客が安心・安全で快適な満足のいく旅行ができるように観光施設及びアクセス道路などの美化作業を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,475				
		(b) 予算現額	21,475				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	21,475				
	B. 執行済額		21,475				
	うち交付金充当額		17,180				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光施設及びアクセス道路などの美化作業	目標	(77ヶ所)	()	()	()	
		実績	27ヶ所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	作業員の募集を町の広報誌に掲載し、9月に採用を行った。 思ったより作業量が多く、なかなか思うように作業が進まなかったため、目標の達成には至らなかったが、今後も観光施設及びそこへのアクセス道路の草刈・清掃作業に取り組み、安心して安全・快適に観光ができる環境整備に取り組んでいく。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	観光施設及びアクセス道路などの美化作業	目標	()	(77ヶ所)	()	()	()
		実績		27ヶ所			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	思ったより現場の方は、作業が多岐にわたること、量が多く作業が捗らない状況もあるが、今後も、引き続き美化作業に取り組み観光客が本町に安心して訪れることができる環境整備に取り組んでいく。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>① 本県は、亜熱帯地方特有の気候であり、草刈作業を行った後、数週間で雑草が繁茂するため、期間を空けず同じ箇所での作業を行うことが多くなった。</p> <p>② 作業用の道具(草刈機・替え刃・クマデ・ほうき・鎌・スコップ等)の消耗及び破損が著しい。</p> <p>③ 日々の業務は、過酷な肉体労働であるため、作業員の健康管理と安全面の対策が必要である。</p>	<p>① アクセス道路等の一部の箇所については、草刈作業を行った数日後に、「除草剤」を散布し、同じ箇所での作業周期の軽減を図りたい。</p> <p>② 作業道具の破損等については、修繕ができるものについてはできる限り修繕を行い消耗品費の節減を図りたい。</p> <p>③ 作業中の適度な休憩と作業員同士の常日頃からのコミュニケーションを作りお互いで健康状態をチェックする。 また、作業中の安全管理には、立て看板とカラーコーンを活用し、作業場の確保と必要に応じて、交通整理員を配置し作業を行う。</p>

今後の取り組み方針

観光地としての質の向上を図るため、引き続き観光美化作業に取り組んでいく。
また、今後、観光地へのアクセス道路に緑化(草花等)装飾作業も検討していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員の採用については、公募を行った後面接を行い適格者を採用した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○委託契約については、本町シルバー人材センターと委託契約を行い、当人材センターを活用することにより、高齢者の雇用拡大を図ることができた。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	八重瀬町景観計画策定業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(6)-ア	
担当部署名	まちづくり計画課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	価値創造のまちづくり	
事業内容	本町の街並み、風景、歴史遺産等を観光資源として活用するため八重瀬町景観計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,250				
		(b) 予算現額	5,250				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,250				
	B. 執行済額		4,988				
	うち交付金充当額		3,990				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		95.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重瀬町景観計画を策定	目標	(八重瀬町景観計画策定)	()	()	()	
		実績	八重瀬町景観計画策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	景観形成方針及び景観形成基準に関する検討を行い、八重瀬町の景観計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	八重瀬町景観計画を策定	目標	()	(八重瀬町景観計画策定)	()	()	()
		実績		八重瀬町景観計画策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	今後、景観計画を公示し、景観形成基準を守ってもらうことにより、八重瀬町の景観を維持・保全し活用することにより、振興にも寄与するものと考えられる。					

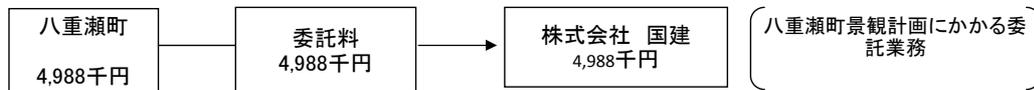
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)八重瀬町景観計画を住民に周知しなければならない。 (イ)景観計画を公示し、条例を制定しなければならないが、前段にもあるように住民への周知が必要である。 (ウ)景観ボランティア組織等を立ち上げ協働で施策展開を考えなければならない。 (エ)景観計画に沿って計画を進める職員体制が必要となる。 (オ)重要建造物・樹木、重点地区指定、景観地区指定等を行い、モデル的な地域を作っていかなければならない。 (カ)重要建造物・樹木、重点地区指定、景観地区指定等を行った地域への補助の導入を検討しなければならない。	(ア)景観ボランティア組織等を立ち上げ、景観計画を周知するとともに、施策展開を図っていく。 (イ)景観ボランティア組織等や地域住民と一緒に重要建造物・樹木、重点地区指定、景観地区指定等を行っていく。 (ウ)重要建造物・樹木、重点地区指定、景観地区指定等を行った地域への補助の導入を検討しなければならない。 (エ)職員体制を整えなければならない。 (オ)景観計画の公示及び条例の制定を行う必要がある。

今後の取り組み方針

景観ボランティア組織等を立ち上げ、協働で景観計画を周知するとともに、施策等にも参加してもらい、重要建造物・樹木、重点地区指定、景観地区指定等を行っていく。また、補助の導入等を検討し、職員体制についても検討しなければならない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,988	4,988	3,990	998	



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により選定。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	災害に強い観光地づくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	町防災計画では想定されていない観光客に対応する分の非常食の購入を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,744				
		(b) 予算現額	1,744				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,744				
	B. 執行済額	909					
	うち交付金充当額	726					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	52.1%					
予算の状況の説明	不要額が835千円発生しているが、消耗品費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	非常食の備蓄 4,005食(445人×3食×3日分)	目標	(4,005食)	()	()	()	
		実績	4,005食				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町防災計画では想定されていない観光客に対応する分の非常食(4,005食)の購入を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	非常食の備蓄 4,005食(445人×3食×3日分)	目標	()	(4,005食)	()	()	()
		実績		4,005食			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	町防災計画では想定されていない観光客に対応する分の非常食(4,005食)の購入を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>目標どおり町防災計画では想定されていない観光客に対応する分の非常食(4,005食)の購入できたため、事業自体に特に課題はないが、地域防災計画に基づく、町人口の20分の1の3日分の非常食の備蓄が完了していない。</p>	<p>地域防災計画に基づき、町人口の20分の1の3日分の非常食の備蓄を進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>地域防災計画に基づき、町人口の20分の1の3日分の非常食の備蓄を進める。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	909	909	726	183	0
<pre> graph LR A[八重瀬町 909千円] --> B[消耗品費 909千円] B --> C[マチダテクノ株式会社 909千円] subgraph Note [非常食の購入] C end </pre>					

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入先業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	八重瀬町水産観光資源事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	八重瀬町の港川漁業協同組合と協働で、水産業を活かした資源を観光につなげるために、追込み漁等の伝統漁業の体験や、浮漁礁での沖釣り体験などを行えるよう安全に漁船へ乗り込める梯子を設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	450				
		(b) 予算現額	445				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	445				
	B. 執行済額		445				
	うち交付金充当額		355				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	梯子の設置	目標	(大1基・小4基)	()	()	()	
		実績	大1基・小4基				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	船船へ乗降できるように梯子(大1基・小4基)の設置を行った。 干満時の潮位差が大きい場合等は特に乗降しやすくなった。 小学生の乗船時等に活用されている。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	漁業体験の受け入れ30人	目標	(0人)	(30人)	()	()	(累計200人)
		実績		20人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	H24年度の体験者の受け入れは近隣の小学生のグループを受け入れたが、梯子設置が寒い時期と重なったため目標値を下回った。					

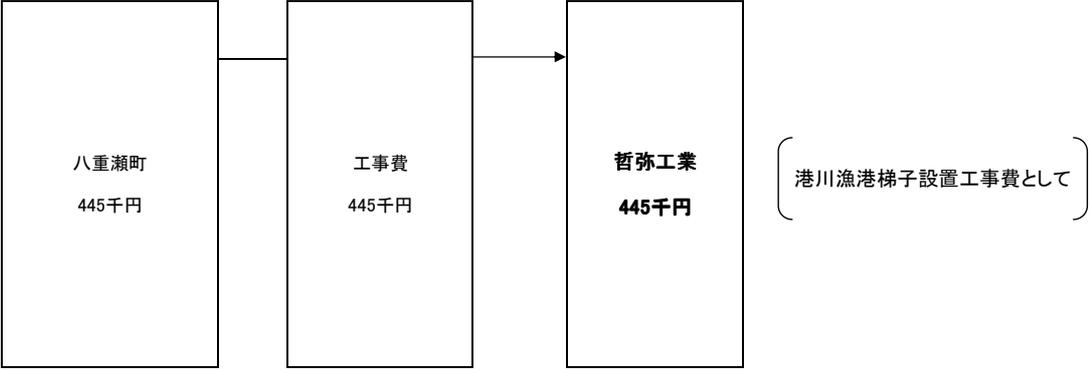
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、具体的な観光体験プログラムを構築中で、港川漁業協同組合や南部観光協会の中でプログラムの早期開発が必要である。 ・体験の受け入れ時に天候の悪化があった場合の代用体験の構築も必要である。 ・体験プログラムを行う場合の指導員の普及が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光体験のステップとして、近隣小中学校の漁業体験プログラムを提案し、安全上の問題や授業内容等の調整をクリアすることができれば具体化できる。 ・南部観光協会が行っている自然体験活動指導者講習を受講し、資格の取得を勧める。

今後の取り組み方針

- ・体験プログラムの具体化及び実施
- ・教育現場でも活用できるプログラムを構築し、教育委員会などと連携を図る。
- ・体験プログラムの指導者を増やせるよう、漁民に対し指導者講習の受講を勧める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
445	445	355	90	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本町財務規則により、3社見積もりによる随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○梯子の設置のみであるため委託工事契約を結んでいる。

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧ 資料館観光活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	教育委員会 生涯学習文化課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	八重瀬町立具志頭資料館は、港川人をはじめ八重瀬町の歴史文化を学べる場であり、開館より地域住民及び観光客の見学者が多く訪れている。近年、町民及び県民より貴重な資料の寄贈が増えつつあるが、展示ケースの不足から、寄贈された資料の展示が行えない状況にある。ケースを確保し、資料の展示公開を行うことで、観覧者増を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,260				
		(b) 予算現額	1,208				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 52				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,208				
	執行状況	B. 執行済額	1,208				
		うち交付金充当額	966				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	・不用額が52千円発生しているが、備品費の入札残によるものである						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	展示用ケースの購入	目標	(3台)	()	()	()	
		実績	3台				
	達成状況説明	目標	()	()	()	()	
		実績					
これまで寄贈のあった貴重な資料はケースがないため展示できなかったが、ケースの購入により町立資料館において展示公開することができた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	展示資料の増加	目標	(0人)	(63点)	()	()	()
		実績		63点			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明 ・新たな資料寄贈者に、受け入れ側（資料館）の展示方法として、展示ケースを見てもらうことにより、寄贈の促進をうながすことができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	町立資料館で寄贈された貴重な資料を新たに公開したが、それに伴う観光客を含めた観覧者の増加が微増だった	資料の展示を常設展示の追加としておこなったため、新たな資料が公開されたことへのPR不足が生じた
今後の取り組み方針		
<p>○展示用ケースを利用し町立資料館において寄贈資料を元にした企画展を行い、観光客を含めた新たな観覧者の誘致を図りたい</p> <p>○25年度の企画展として6月～8月に「戦争資料展」 2月「新収蔵品展」の開催を予定</p>		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		1,208	1,208	966	242	
<pre> graph LR A[八重瀬町 1208千円] --> B[備品購入費 1208千円] B --> C[株式会社沖縄みつわ 1208千円] C --- D(展示ケース備品購入) </pre>						

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名入札により業者を選定しており、妥当であったと考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	ぐしちゃん朝市日除け設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<p>地元で生産された農水産物・加工品の展示販売を行うことで、地産地消を推進し、農家や高齢者、女性等の活躍の場になり地域の活性化に繋がるとともに、当該展示販売を南部観光の主要通過道路である国道沿いで開催する事により、観光客への地元特産物PRにつなげるため、朝市開催場所に日除けを設置する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,416				
		(b) 予算現額	10,156				
		(c) 増減額 (b-a)	3,740				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,156				
	執行の状況	B. 執行済額	9,927				
		うち交付金充当額	7,941				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	97.7%					
予算の状況の説明	<p>・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・備品の購入、日除けの横側に風除け・雨除けとして当初予算から工事請負費、備品購入費を増額補正した。</p>						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ぐしちゃん朝市日除けの設計 ・日除け設置工事の実施	目標	(日除け設置)	()	()	()	
		実績	日除け設置				
	・焼き芋器、音響機材、物置倉庫、発電機の購入	目標	(備品の購入)	()	()	()	
		実績	備品の購入				
達成状況説明	平成24年度はぐしちゃん朝市を46回開催でき、平均来場者数も175人/月となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	・ぐしちゃん朝市来客数 毎月100人	目標	(0人)	(100人/月)	()	()	()
		実績		175人/月			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成24年度のぐしちゃん朝市来客数は目標値を上回った。					

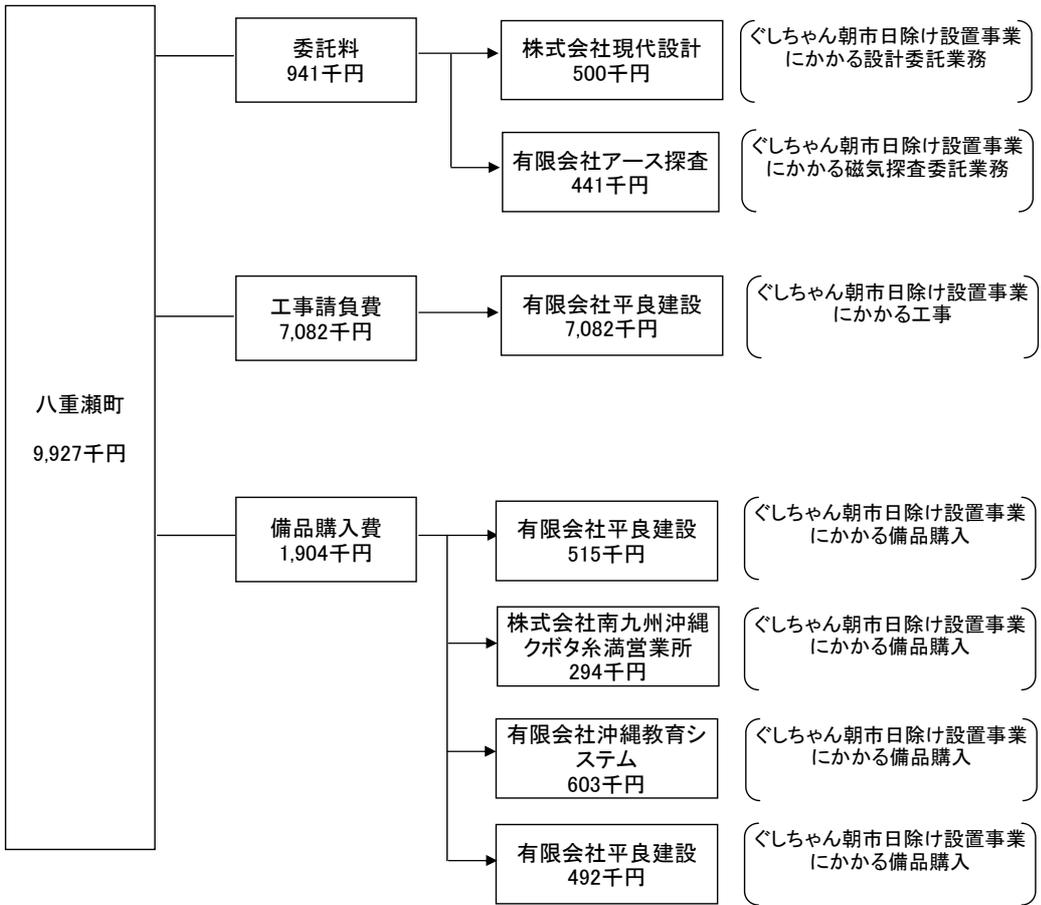
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ぐしちゃん朝市を行う上で、夏場の野菜等の種類が少なく来客数が他の時期と比較して少なかった。</p>	<p>・再度出店者募集をし、出店者の増や野菜等の種類の増に繋げる。</p>

今後の取り組み方針

ぐしちゃん朝市準備委員会で話し合い、再度募集の要件や規程等の見直しを行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,927	9,927	7,941	1,986	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事の契約を入札により行った。 ○本町財務規則により、3社見積もりによる随意契約を行った。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

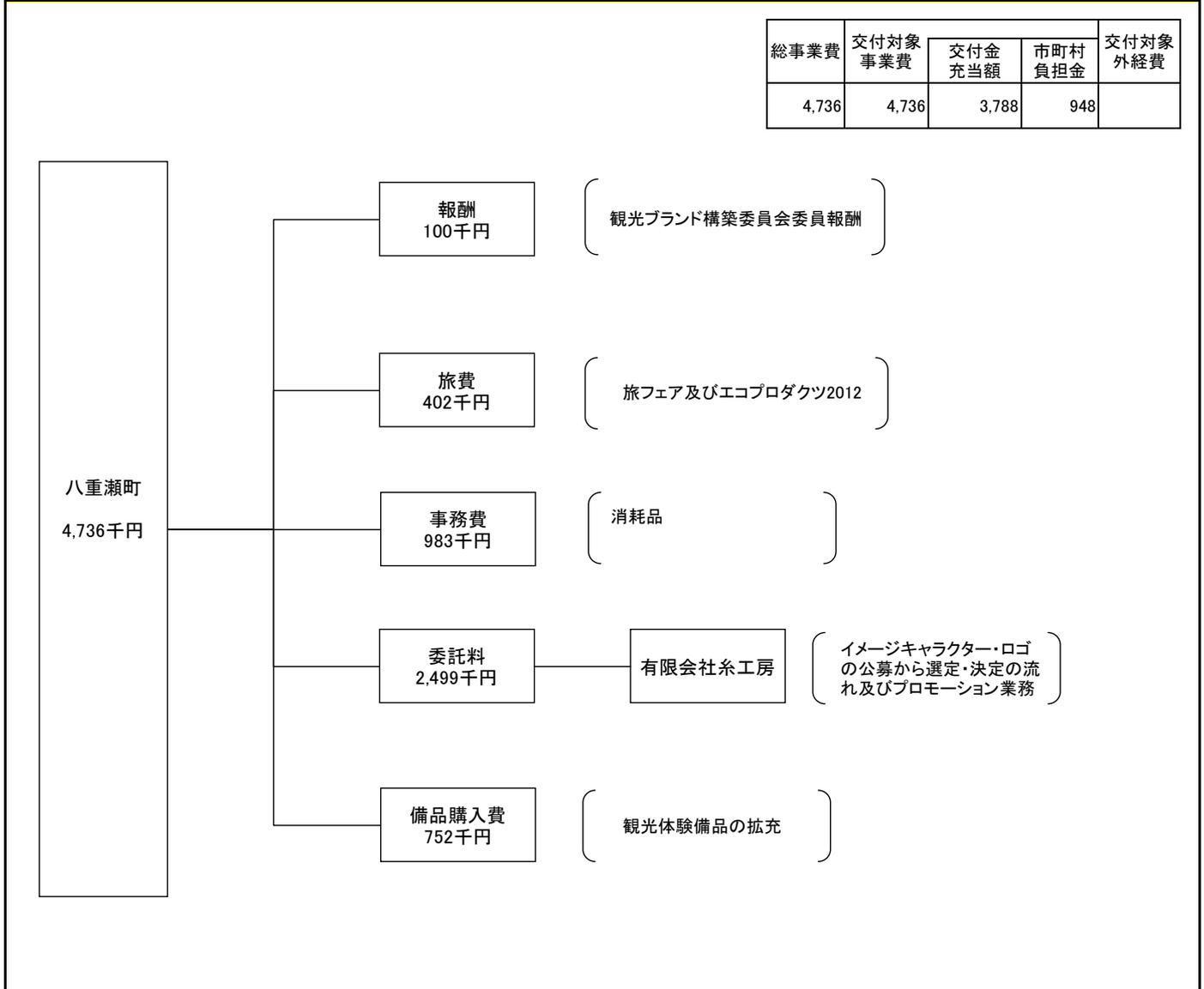
市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	八重瀬観光資源構築に関する事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)	
事業内容	八重瀬の観光ブランドを構築するために、八重瀬ブランドのデザイン(ロゴ等)の製作及び効果的に情報発信するためPRキャラクターの創出を図る。 また、県内外へ広く八重瀬観光ブランドをプロモーションをおこなう。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,757				
		(b) 予算現額	5,757				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計(b+d)	5,757				
	執行額	B. 執行済額	4,736				
		うち交付金充当額	3,788				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	82.3%					
予算の状況の説明	※本事業は、実績額の修正報告を行っており、記載額は修正報告後の額となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重瀬町イメージキャラクターの作成 八重瀬町イメージロゴの作成	目標	(八重瀬町イメージキャラクター・ロゴ作成)	()	()	()	
		実績	八重瀬町イメージキャラクター・ロゴ作成				
	八重瀬町観光プロモーションの実施	目標	(3回)	()	()	()	
		実績	3回				
達成状況説明	イメージキャラクター及びロゴの公募は10月より開始し、900点余りの応募があった。その後、委託業者による一次選考、住民投票、委員投票、モニタリング調査結果等を踏まえて選定決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	イメージキャラクター及びイメージロゴを使用した観光プロモーションの実施	目標	()	(3回)	()	()	()
		実績		3回			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	イメージキャラクターの公募は900点余りの応募があり、委員会において選定・決定を行った。八重瀬町の観光ブランドを構築するために旅フェア(東京ビッグサイト)及びエコプロダクツ2012(東京ビッグサイト)に出展し、モニタリング調査や観光プロモーションを実施した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○観光ブランドを構築するためには内部での意志決定に止まらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションや外部からのモニタリング調査の重要性を認識した。	○八重瀬観光ブランドの構築が一過性のものに終わらないように、継続してブランド構築及び観光プロモーションの実施が不可欠。 ○イメージキャラクターは今後、それを活用して何を・誰に・何のために行うことが重要であり、継続して行う必要がある。

今後の取り組み方針

- ・イメージキャラクターを効果的に八重瀬町の観光PRに使用するために、より視覚的に行うことが求められるため平成25年度に以下の事業を行う。
- ・イメージキャラクターの着ぐるみ作成
- ・八重瀬町観光PRを行うためイメージキャラクターを使ったプロモーションの実施(例 歌や振付の創作等)
- ・観光ブランド構築委員会において県内外へ効果的な観光プロモーションの選定・決定を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町										
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	3-② 八重瀬観光資源ブランド開発に関する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-イ							
	担当部署名	企画財政課		事業実施(予定)年度		平成24~33年度						
		沖縄振興基本方針該当箇所		III-1-(4)								
事業内容												
<p>本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の掘り起こしを行い地域住民ワークショップ(まちづくり委員会)の実施、観光先進地のリーダーの講演会の実施及び安全管理等を含めた人材育成を実施した。 最後にその集大成として地域住民と協働による八重瀬体験フェスティバルの実施を行い、体験の実証検証を行った。</p>												
実施方法												
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()												
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		
		(a) 当初予算額	10,000									
	(b) 予算現額	9,993										
	(c) 増減額(b-a)	▲ 7										
	(d) 前年度繰越額	-										
	A. 計(b+d)	9,993										
	B. 執行済額	9,993										
	うち交付金充当額	7,994										
	次年度繰越額	0										
	執行率(%) (B/A)	100.0%										
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。										
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況									
					24年度		25年度		26年度		27年度	
	・観光まちづくりワークショップの実施(8回) ・救急蘇生法認定等人材育成講習会の実施(3回) ・先進地リーダーの招聘による講演会(3回)	目標	(14回)	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		実績	14回									
	・地域の資源(人材・施設)の活用による体験フェスティバルの実施(1回)	目標	(1回)	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		実績	1回									
達成状況説明		<p>観光まちづくり委員会は10月に公募により、「八重瀬町の観光に興味のあるもの、まちづくりを協働して実践できるもの」として約40名もの町民を集めて八重瀬町の観光資源について検討した。 その課程の中において、観光先進地のリーダーを招聘して色々なまちおこしの方策を勉強し、八重瀬町においてはどのような観光まちづくりの実践がいいのか互いに意見交換しながら八重瀬観光ブランドの創造を図った。</p>										
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)		24年度		25年度		26年度		目標値(年度)	
	・観光まちづくり委員会ワークショップ 延べ200人 ・救急蘇生法等人材育成数 20人 ・先進地リーダー招聘人数 3人	目標	()	(延べ200人)	()	()	()	()	()	()	()	()
		実績		延べ247人 55人 3人								
	・体験フェスティバル来場者数 1,500人	目標	()	(1500人)	()	()	()	()	()	()	()	()
		実績		1204人								
進捗状況説明		<p>八重瀬町において、色々な地域資源の調査・掘り起こしを行ってきて、その集大成として八重瀬町においてできる、他ではできない素材を使っての八重瀬ならではの体験を集めて地域内外に八重瀬のPRを行う集大成のイベントを行った。 3日間の限られた日程において目標には届かなかったが、延べ1200人以上の集客があり次年度も同イベントを開催し八重瀬町のPRを行う。</p>										

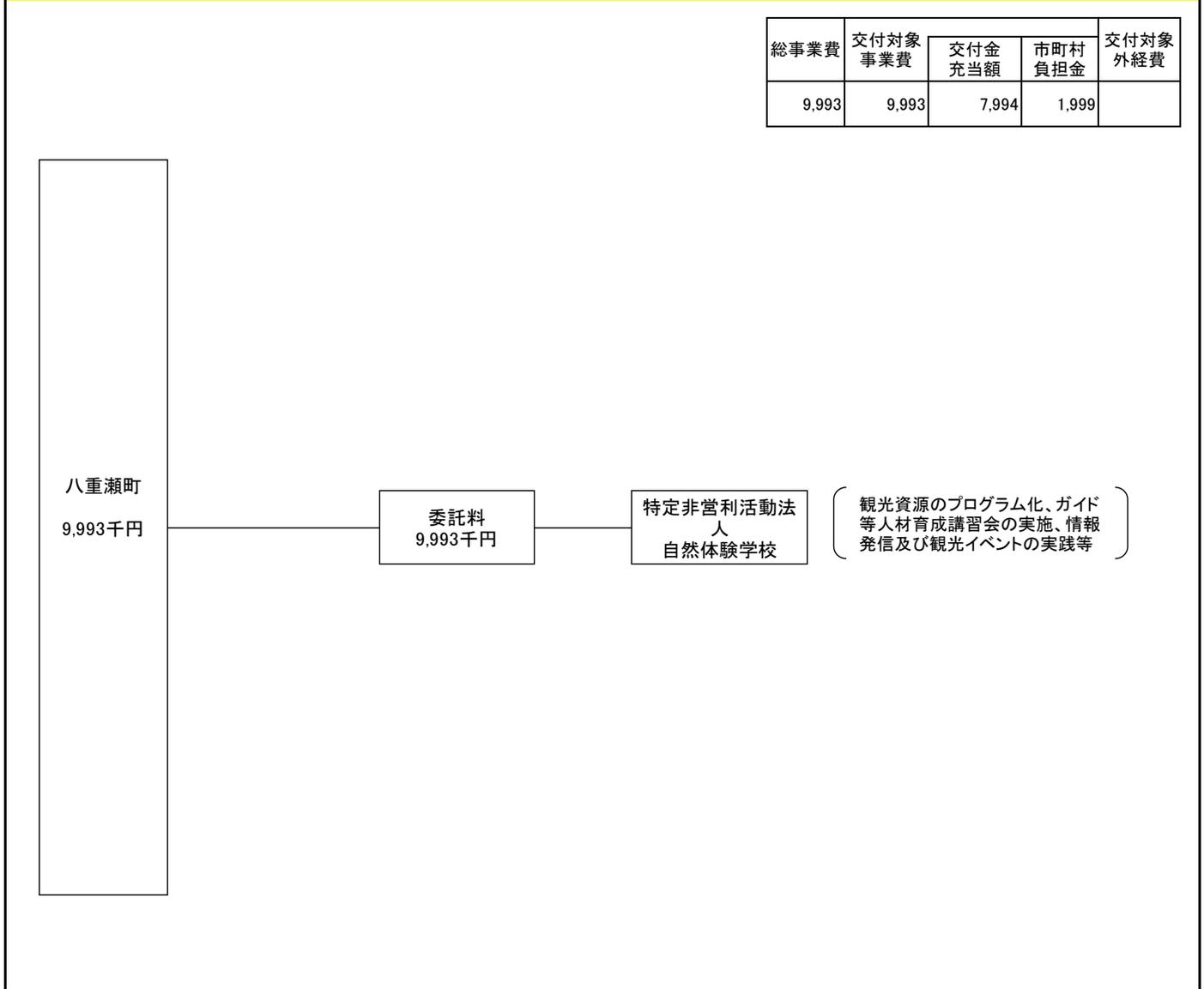
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○観光ブランドを構築するためには内部での意志決定に止まらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションや外部からのモニタリング調査の重要性を認識した。	○八重瀬観光ブランドの開発が一過性のものに終わらないように、継続して観光資源のプログラム化、更なるブラッシュアップ及び継続した観光プロモーションの実施が不可欠。 ○観光資源のプログラム化において、一番重要なのは観光の仕組みづくり(ガイドの育成及び看板設置等の条件整備)
	○地域資源は安心安全ではないととえ素晴らしいモノでも、一つの事故で駄目になってしまうので、観光資源プログラム化の重要性を認識した。	
	○地域資源の重要性は、自らがその重要性を認識しないといけないので地域内にもその素晴らしさを啓発する必要があった。	

今後の取り組み方針

1. 観光ブランドの開発のためには継続した取組の実施が不可欠なので、平成25年度においても住民と協働の観光まちづくりの実践を行う。具体的には以下の取組

- ・発地への観光プロモーション(旅フェア・エコプロダクツ2013)
- ・地域資源を活用した観光資源プログラムの開発(まちあるきメニュー・体験プログラム等)
- ・住民と協働による観光まちづくりイベントの実践

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	八重瀬カラベジブランド構築に関する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	地域ブランドとして「八重瀬カラフルベジタブルプロジェクト」が定着しつつあり、販路拡大を図るために必要な販路システムの構築を検討し生産者の所得向上及び地域活性化を図るため、カラベジ製品のブラッシュアップや新規製品の開発及び販路拡大PR等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000				
		(b) 予算現額	10,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	10,000				
	B. 執行済額		10,000				
	うち交付金充当額		8,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・カラベジ製品の開発 ・物産展商談会の参加と販路開拓活動 ・カラベジスタンプラリー開催	目標	(5品開発 5回 1回)	()	()	()	
		実績	5品開発 5回 1回				
	・ブランド力向上のための実行計画の策定	目標	(実行計画策定)	()	()	()	
		実績	実行計画策定				
達成状況説明	推進委員会を中心に「八重瀬カラベジ」を活用して町のイメージアップと地域活性化を結びつけるための企画と活動を行い、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・新規カラベジ製品開発 5品 ・販路開拓数 3件 ・カラベジスタンプラリーの参加者数 1,400人	目標	()	(5品 3件 1,400人)	()	()	()
		実績	/	5品 3件 1,400人			
	・ブランド力向上のための実行計画の策定	目標	()	(実行計画策定)	()	()	()
		実績	/	実行計画策定			
	進捗状況説明	販路開拓とPRのため、県内のみならず県外(東京2回)での祭事や、生活者との接点づくりのためのスタンプラリーの開催と同時にプレスリリースをし積極的にを行いマスコミを活用し、知名度アップを図った。					

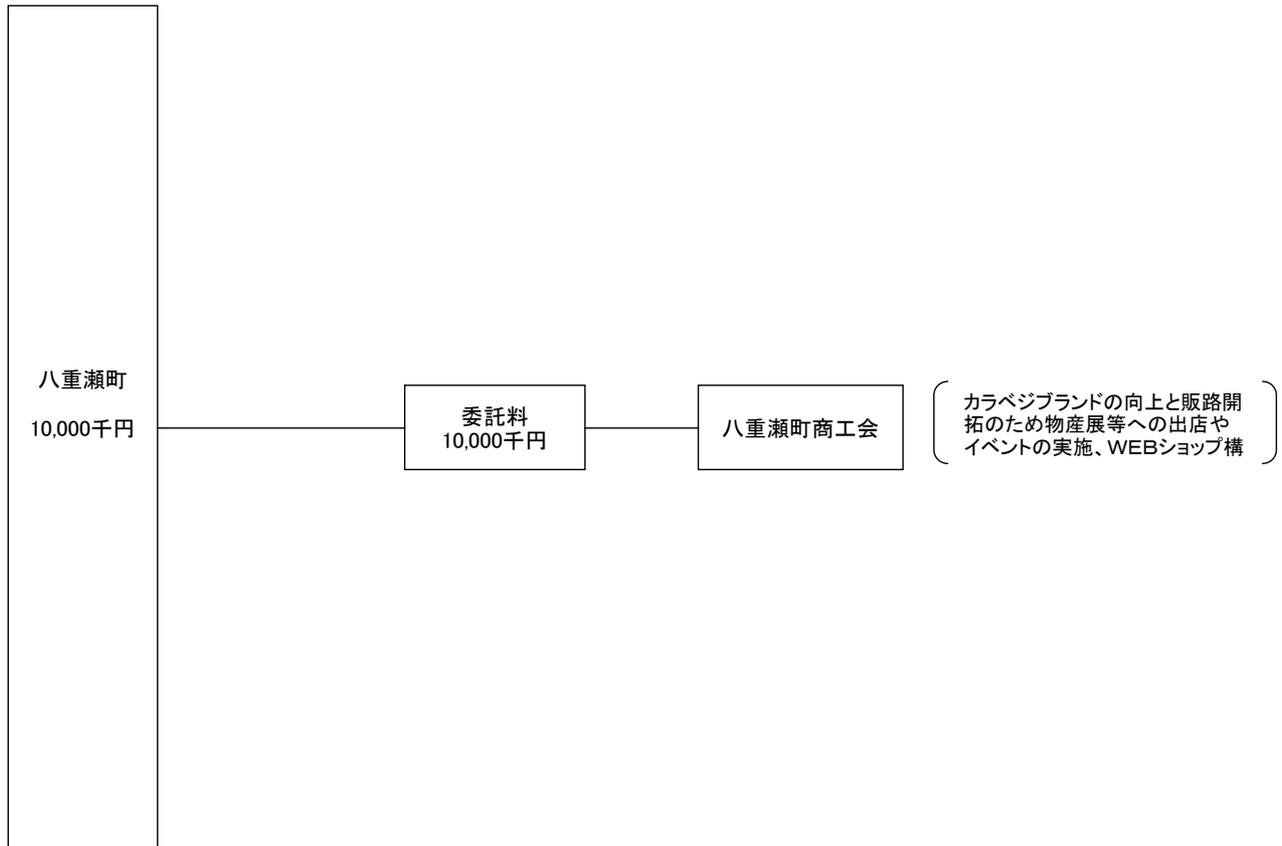
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○ブランドは一朝一夕で構築できるものではなく継続的な活動が必要である。</p> <p>○これまでの活動により「八重瀬カラベジ」の知名度は向上しているが、経済面での地域活性化についてはまだ不足している。町内は小規模事業者が多く経営資源が乏しいため、販路開拓は町全体で継続的に取り組む必要がある。</p> <p>○町は修学旅行生をはじめとする民泊や体験プログラムを推進しており今後増加傾向にある。お土産やギフト商品等が不足しており開発が急がれる。</p>	<p>○ブランド力向上のため、イベントと情報発信の継続。</p> <p>○一事業所ではなく「八重瀬カラベジ」の傘のもと、継続的な販路開拓支援を行い経済面での地域活性化を図る。</p> <p>○町を連想させるカラベジを活用した商品づくり。</p>

今後の取り組み方針

○カラベジと町内未利用資源(海産物、乳等)を活用した新たな商品開発とイベントの実施。
 ○町内外における物産展や商談会の開催或いは参加により参画事業所の販路開拓を継続支援。
 ○WEBを活用したプロモーション(販促、ブランドの顧客形成)

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,000	10,000	8,000	2,000	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	八重瀬観光資源ブランド情報発信に関する事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	八重瀬の魅力ある観光資源の情報を観光客の視点から余すところなく必要な情報を与えるため、八重瀬町観光資源パンフレットの作成を行った。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,300				
		(b) 予算現額	2,300				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,300				
	B. 執行済額		1,026				
	うち交付金充当額		820				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		44.6%				
予算の状況の説明		当初の目的(観光パンフレットの作成)は達成したが、入札による結果、執行残が出た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重瀬町観光パンフレット作成	目標	(20,000部)	()	()	()	
		実績	20,000部				
		目標	(—)	()	()	()	
		実績	—				
達成状況説明	八重瀬の魅力ある観光資源の情報を観光客の視点から余すところなく必要な情報を与えるため、八重瀬町観光資源パンフレットの作成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・八重瀬町観光パンフレット設置箇所	目標	()	(20箇所)	()	()	()
		実績		30箇所			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	八重瀬町観光パンフレットを県内各ホテル等へ設置依頼・配布をおこなった。					

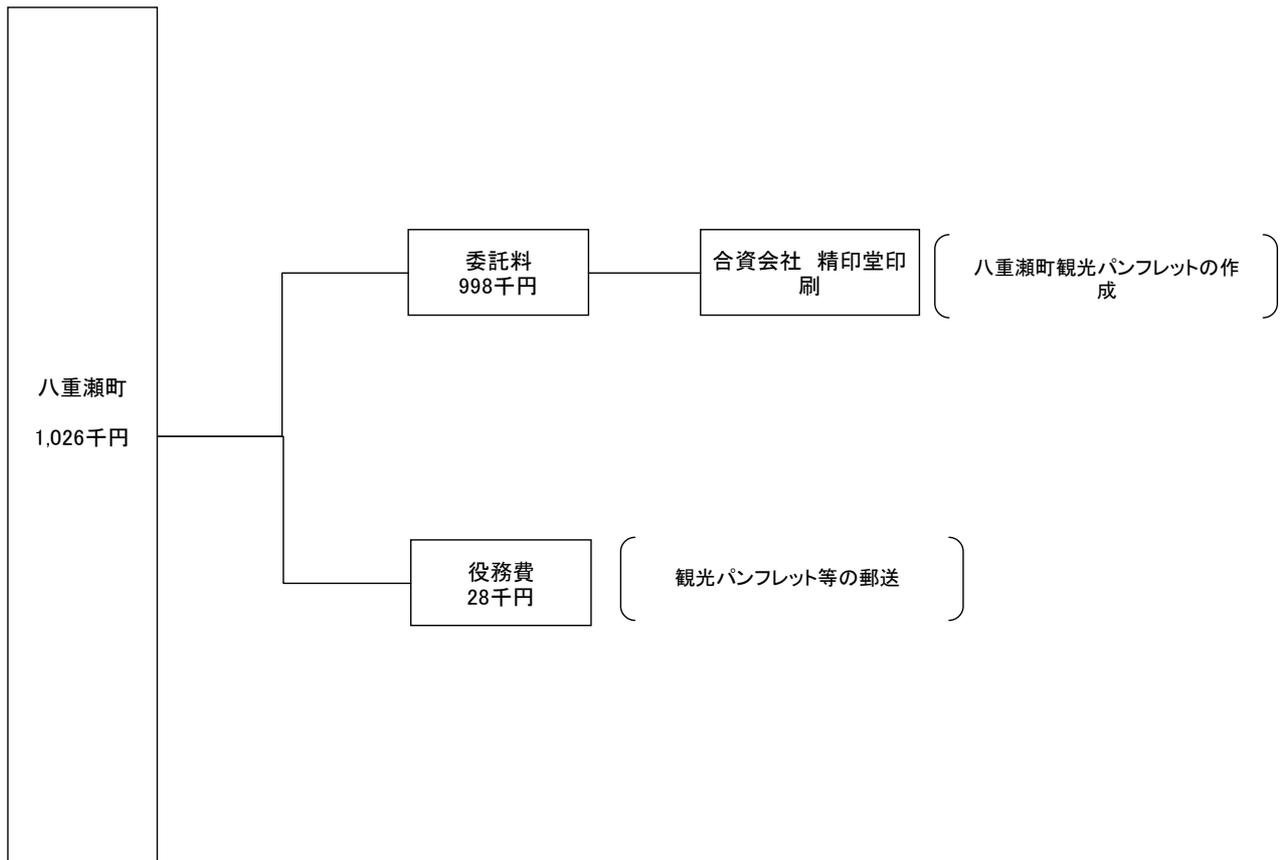
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地理的(道路整備・建築物等)、社会的(交通システム等)にも情報は日々変化していくので正確な情報把握が重要。	今後も継続して情報を刷新していくことにより地域内外からの観光ニーズに応えることができるので日々検証する必要がある。

今後の取り組み方針

既存の20,000部を地域内外に配布終わったら、早急に観光情報の一新を図ることが観光客へのニーズに応えることになるので継続して行う。また、観光客のニーズは一律ではないので今後、個別に特化した観光パンフレットの作成の検討も図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,026	1,026	820	206	



資金の流 点検 評価 項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	八重瀬町農業機械整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯気候等を生かした農林水産業の振興 III-1-(6)	
事業内容	さとつきびを中心とした農業振興を図るため、共同利用機械(バックフォー等)を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,800				
		(b) 予算現額	22,160				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 6,640				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計(b+d)	22,160				
	B. 執行済額		22,160				
	うち交付金充当額		17,728				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額が発生しているが、入札による残であり、当初計画していた事業内容はすべて実施しているため適正と考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・パワーショベル2台購入	目標	(2台)	()	()	()	
		実績	2台				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	パワーショベル2台を購入し、当初目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・パワーショベル2台導入	目標	()	(2台)	()	()	()
		実績		2台			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	パワーショベル2台を導入し、当初目標を達成した。					

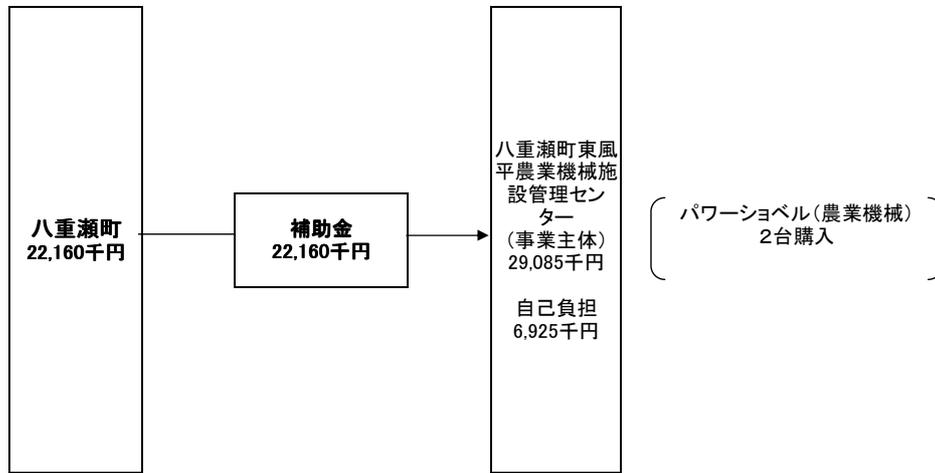
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業で導入した農業機械の管理運営、利用状況等の把握を行う必要がある。	事業目的外使用がされていないか把握を行う必要がある。

今後の取り組み方針

今後は農業機械の対応年数の間において、適切な管理運営を指導するとともに、事業実施後の管理運営、利用状況及び事業効果の把握に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
29,085	22,160	17,728	4,432	6,925



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	購入については入札により行われており、適正であった。また、事業計画書により、農業機械の規模決定根拠等も整理されており、適正と判断している。事業主体の負担については20%を負担しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町循環型環境保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部署名	住民環境課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能な環境型社会の構築 III-1-(6)	
事業内容	生ゴミをゴミとして焼却するのではなく、肥料として活用しゴミの減量化を行うことで循環型農業の取り組みを行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,560				
		(b) 予算現額	1,560				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,560				
	B. 執行済額		1,528				
	うち交付金充当額		1,222				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		97.9%				
予算の状況の説明		当初の生ゴミ回収見込み日数よりも、実績日数減(-4日)になった為に執行率が-2.1%になっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生ゴミ回収実施	目標	(195回)	()	()	()	
		実績	191回				
	町民への生ゴミ回収協力依頼	目標	(12ヶ所)	()	()	()	
		実績	11ヶ所				
達成状況説明	台風休み(1日)と正月休み(3日)を追加するとして契約変更で、当初の回収見込み日数よりも-4日(-4回)になった。また、回収対象である長毛団地の自治会長から、管理が大変であるという理由で平成24年10月15日より生ゴミ回収を中止している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	生ゴミ回収量	目標	()	(38トン)	()	()	()
		実績		40トン			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	生ゴミ回収対象である集合住宅からの回収見込み量が月平均で約15kg上回った。					

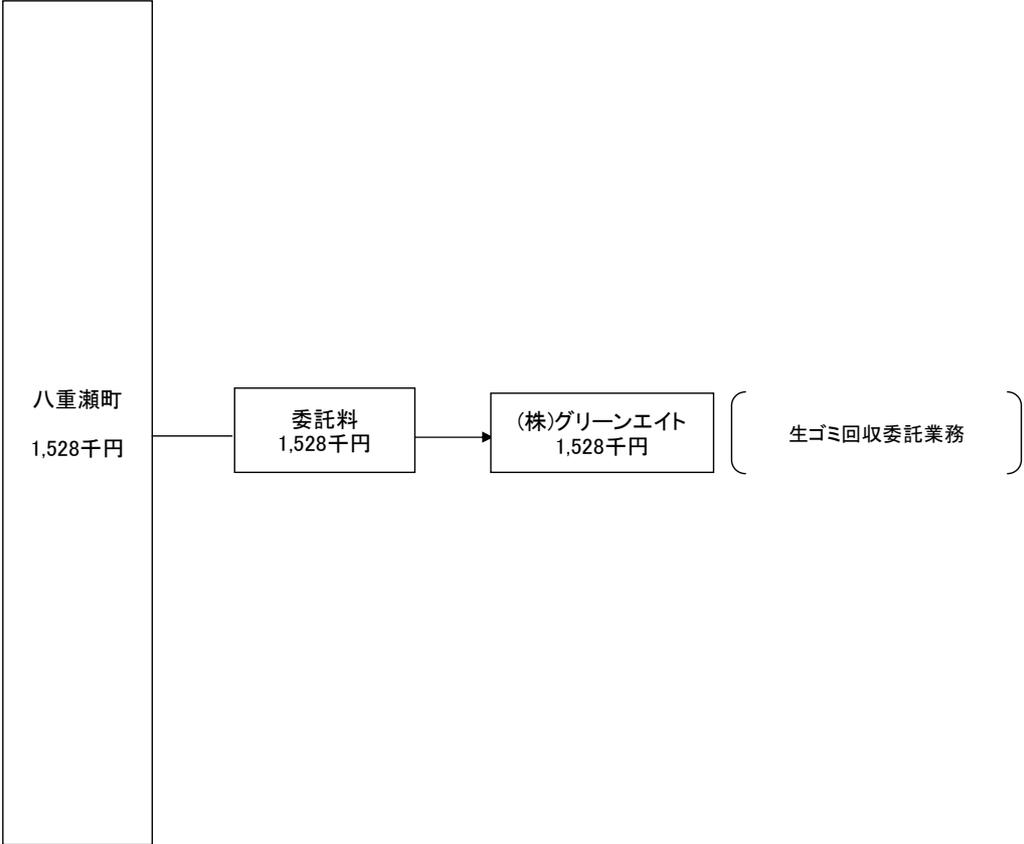
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	一部の回収場所では、生ゴミをポリバケツに投入後にゴミが入っていた袋をその場にポイ捨てされる問題が発生。結果、管理が大変であるという理由で、回収対象が1ヶ所減った。	住民環境を清潔に保全する意識をもたせる必要がある。

今後の取り組み方針

集合住宅にポスターを貼ったり、周知をすること事によって、住民環境の清潔保全を促す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,528	1,528	1,222	306	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者において、該当する業者が1業者しかない為その業者を選定した。よって、選定方法は妥当であったと考えられる。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	慰霊顕彰管理事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ	
担当部課名	社会福祉課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際協力・貢献活動の推進		
事業内容	毎年開催されている町主催の慰霊祭において戦没者の御霊を慰め小・中学校への平和学習の場として活用するため、具志頭城址に設置されている具志頭戦没者芳名版へ戦没者を追加、修繕する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	588				
		(b) 予算現額	588				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	588				
	B. 執行済額		588				
	うち交付金充当額		470				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	戦没者名追加	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
	芳名版修復	目標	(芳名版修復)	()	()	()	
		実績	芳名版修復				
達成状況説明	本町の具志頭城址に設置されている具志頭戦没者芳名版へ戦没者名を追加・修復し毎年開催されている町主催の慰霊祭において戦没者の御霊を慰め小・中学生の平和学習の場として活用した。及び芳名版へ戦没者名追加を1名行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	戦没者名追加	目標	()	(1人)	()	()	()
		実績		1人			
	芳名版修復	目標	()	(芳名版修復)	()	()	()
		実績		芳名版修復			
	進捗状況説明	戦没者名の追加修復及び慰霊顕彰碑修繕し、現在町が行っている町主催の慰霊祭及び小学校、中学校の平和学習の継承を行う。（慰霊祭参加者150名、小学、中学校在籍者数2,850名の内、代表者9名参加）					

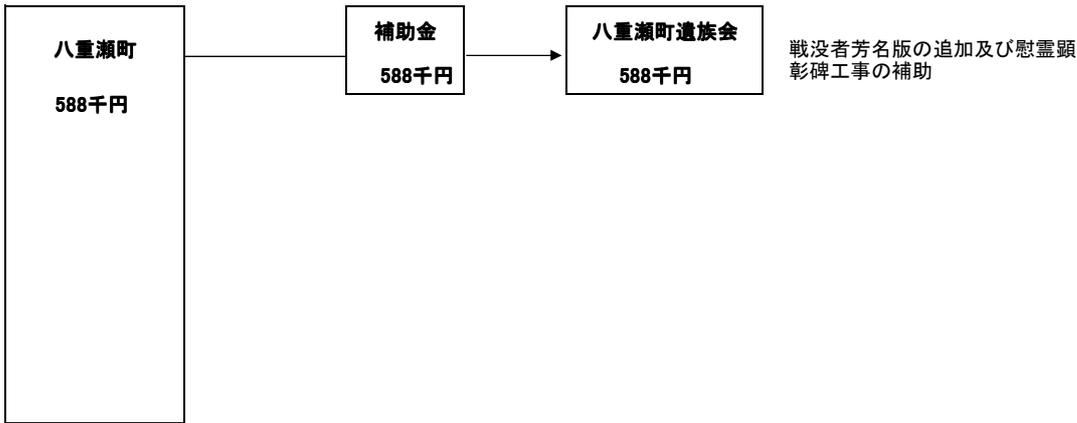
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初計画していた戦没者名追加と芳名版修復を完了したため問題なし。	現時点では、戦没者名の追加予定もなく問題なし。

今後の取り組み方針

戦没者芳名版にも名前が追加され、小・中学校の平和活動にも活用されていることから、今後も平和活動へ利用していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
588	588	470	118	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	発注において、130万円以下であり、八重瀬町規則第120条1項1号により予定価格が130万円未満で3社以上からの見積もで執行されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	